

開かれた議会 市民とともに歩む議会 行動する議会

たきざわ市議会だより

第16号
平成29年3月15日
発行責任者：滝沢市議会議長
編集：広報常任委員会



直轄砂防事業促進期成同盟会 4市町議会議員研修会

2月8日、秋田県仙北市で、28年度八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会による研修会が開催されました。

この同盟会は、八幡平山系に位置する八幡平市、雲石町、滝沢市、秋田県仙北市の4市町の首長及び議長で構成され、その砂防事業を促進するための組織です。

八幡平山系では岩手山や秋田駒ヶ岳などの火山災害や土石流などの危険性が高いため、減災に向けた砂防事業が急務となっており、このことから同盟会は、毎年、国への要望とともに現地視察や研修会を行なっています。

今年度は、秋田気象台の気象情報から「防災気象情報とその活用」の講演を聞き、「避難準備情報」「高砂防等避難開始」などの名称変更情報や今後の新たな取り組みの説明がありました。

また、岩手・秋田両県の「河川国道事務所」から「土砂災害の歴史」「岩手山と秋田駒ヶ岳の火山活動の状況」「砂防施設の整備状況」の説明を受けました。

岩手管内だけでも、既に30基の砂防施設が完成し、現在も4基の施設が整備中であり、減災に向けた砂防事業が順調に進められていることが確認できました。

土砂災害や豪雨により、尊い命が犠牲になり、また多くの家屋等への被害が近年も多く発生しています。

八幡平山系では岩手山や秋田駒ヶ岳などの火山災害や土石流などの危険性が高いため、減災に向けた砂防事業が急務となっており、このことから同盟会は、毎年、国への要望とともに現地視察や研修会を行なっています。

今年度は、秋田気象台の気象情報から「防災気象情報とその活用」の講演を聞き、「避難準備情報」「高砂防等避難開始」などの名称変更情報や今後の新たな取り組みの説明がありました。

また、岩手・秋田両県の「河川国道事務所」から「土砂災害の歴史」「岩手山と秋田駒ヶ岳の火山活動の状況」「砂防施設の整備状況」の説明を受けました。

岩手管内だけでも、既に30基の砂防施設が完成し、現在も4基の施設が整備中であり、減災に向けた砂防事業が順調に進められていることが確認できました。

議決一覧(12月第2回会議)

全員賛成で議決した議案

議案第1号	滝沢市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正することについて
議案第2号	滝沢市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正することについて
議案第3号	滝沢市上下水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正することについて

※賛否が分かれた議案はありませんでした。

議決一覧(2月会議)

全員賛成で議決した議案

議案第1号	平成28年度滝沢市一般会計補正予算(第6号)
議案第3号	滝沢市多目的研修センターに関する指定管理者の指定について
議案第4号	滝沢総合公園等に関する指定管理者の指定について

賛否が分かれた議案

議案第2号	滝沢市簡易水道事業配水管布設工事請負変更契約の締結について	結果																				賛成票数	反対票数
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
		齋藤 明	武田 哲	日向 清一	仲田 孝行	小田島 清美	高橋 辰雄	稲荷場 裕	日向 裕子	川村 守	藤原 治	桜井 博義	相原 孝彦	角掛 邦彦	松村 一勝	工藤 勝則	遠藤 秀鬼	山谷 仁	佐藤 澄子	長内 信平	表決議員数	賛成票数	反対票数
		○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	※	18	15	3

農業の担い手支援について

産業建設常任委員会

所管事務調査報告

就業人口の減少に伴い、農業従事者の高齢化や農産物価格の低迷など農業を取り巻く環境は厳しさを増しています。こうした中で、持続的な農業振興を図るため調査しました。

市の現状

国の施策のもと、新たに農業に参入する新規就農者に対する経営面の支援、農業保険を行う多面的機能支払事業、農地中間管理機構を活用した農地の集積事業などを行っている。

さらに市では、通年預託事業での畜産振興、農業経営指導マネージャーによる相談事業、認定農業者協議会への事務的支援などで対応している。新規就農の実態を知る

視察先の調査内容

長野県須坂市では、果樹産地として特にりんご、ぶどうが盛んに栽培されている。就農までの取組みとして「相談→体験→研修→就農」といった流れで、しっかりと就農に結び付けている。本市においても地理的

群馬県川場村では、畜産経営継承システム「就農相談→農業体験→マッチング→技術習得→継承→営農」を活用し、酪農での経営継承は全国で初めての新規就農であり期待が寄せられている。本市の酪農は規模が大きく、専業農家が多いのが特徴であるが、酪農も進んでいる状況にある。酪農での新規就農は他の畑作に比べ施設等の初期投資が膨大で難しく、農業団体(農協)ヘルパー組合等・市及び関係機関でサポートチームを立ち上げるなどして、思い切った施策、支援制度が必要と考える。

今後は販売のPRももちろん、新規就農の受け皿として、担い手を育てる施策が必要と考える。

考察

今後の農業には担い手の確保が急務であり、そのためには農地・農業機械情報、就農独立までの技術・資金・経営の一本化した支援体制の確立が必要になる。特に新規就農には今後の期待が大きく各関係機関と連携しながら市独自の主要営農モデルの構築が必要と考える。

同時に、新規就農者を呼び込む手段として、首都圏での農業の魅力のPRや本市の農業を紹介するブースの開設並びに農業講座等を定期的に開催するなど、内外への発信を検討するべきである。

シリーズ第4回『議会評価』を受けて～透明性～

議会では「第2回議会評価」を昨年実施し、現在の議会の状態を明らかにしました。

『市民参加』『課題解決能力』『意思決定能力』『透明性』の4つの項目で評価したため、細かな内容や今後の取り組みのポイントを、シリーズで詳しくお知らせします。

議会の現状

シリーズの最後となる第4回目は、本会議での審議内容や議決結果、一般質問の内容、委員会の活動状況など日ごとの議会活動を皆さまにお伝えする『透明性』の項目です。

① 関連資料の公開
② 政務活動の公開
③ 発信媒体

と、この3つの視点を、

『1』 改善が必要な状態
『2』 改善が必要な状態
『3』 良好な状態
『4』 十分良好な状態
『5』 理想の議会像

その結果は、下の表中の『A』欄のとおりです。

さらに、議会評価を実施する際に、今後めざしていく状態も定めており、その内容は表中の『イ』欄のとおりです。

3つの視点	評価内容	A:H27評価結果→現在の議会の状態	イ:めざす状態
① 関連資料の公開	議事録や関連資料等、どの程度タイムリーに見やすく、正確に公開しているか。	『3』 本会議での「審議(採決含む)結果」が、「市議会だより」「ホームページ」で、過度に時期を逸せず誤りなく公開されている状態。	『4』 本会議及び委員会での「審議(採決含む)結果」が、「市議会だより」「ホームページ」で、見やすく遅滞なく誤りなく公開されている状態。
② 政務活動の公開	政務活動の具体的な内容について、どの程度タイムリーに見やすく、正確に公開しているか。	『3』 政務活動費について、支出科目及び金額が、遅滞なく誤りなく公開されている状態。	『4』 政務活動費について、支出科目、金額、活動の目的及び内容が、見やすく過度に時期を逸せず誤りなく公開されている状態。
③ 発信媒体	公開するための発信媒体が複数の手法により、どの程度見やすいか。	『3』 「市議会だより」「ホームページ」で情報を提供している。	『4』 「市議会だより」「ホームページ」で情報を提供しており、視覚障がい者に対する配慮も十分にされている。

3～5月議会の活動

3月16日(木)	予算決算常任委員会 ※	4月19日(水)	議会運営委員会
3月21日(火)	3月会議 ※	5月18日(木)	議会運営委員会
4月12日(水)	議会運営委員会	5月18日(木)	全員協議会
4月12日(水)	全員協議会		

このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。※は、議場で開かれます。それ以外は、それぞれ委員会室等で開かれます。

12～2月会議の傍聴者34名

～お知らせ～

- ◎滝沢市議会のホームページで「議会だより」や「議会会議録」をご覧ください。
- ◎議場・議会事務局は市役所4階です。
- ◎日程・内容は予定であり、変更する場合がありますのでご了承願います。

傍聴におでんせ!